



やっと冬らしくなり、寒くなってきました。少しずつ風邪をひいている人も増えています。睡眠をしっかりと、栄養のバランスのとれた食事をし、手洗い・うがい、部屋の換気をするなど、風邪の予防に努めましょう。



## 認知症の出前講座を行いました。(1年生対象)

11月13日(金)に、豊橋市役所長寿介護課の山下さんと地域包括センター「みのり」の職員の方5名(中村さん代表)の方に来ていただき「やさしさを育てよう～認知症の方への対応から学ぶこと～」というテーマで認知症に関しての出前講座を行いました。

内容は、始めに地域包括センター「みのり」の職員の方の職業と紹介があり、その後、1年生の担任の先生による「認知症高齢者の家庭内でよくある風景」の【悪い対応例】の劇を見て、その感想を聞きました。その後【良い対応例】の劇を見て、2つの劇をみて思ったことを聞きました。次に「みのり」の職員の方が、認知症のおばあさん役で1年生の後ろから現れ、どう対応したらよいか、実際にやってもらうことも行いました。

短い45分の授業でしたが、学ぶことが多かったようです。1年生の子の感想を紹介します。



### 認知症の出前講座から学んだこと・気がついたこと(振り返りより)

#### 1の1

・今まで認知症の人に対してあまりいいイメージがなくて、感情とかがあまりなくなってしまうと思っていたけど、そんなことじゃなくてちゃんと楽しんだりすることも好きなんだなあと思いました。これから、そうやって困っていたりした人がいたら優しく話しかけてあげたいです。家族とかでも認知症になってしまった時は、今日教えてもらった事を思いだしてみようと思います。(1の1女)

・認知症になると当たりがきつくなってしまうけど、優しく接してあげることが大切だということが分かりました。同じことを何回も言われても優しく接することも大切だということも分かりました。(1の1女)

・家にも祖父母がいます。そして、今日の授業で接し方などいろんなことを学びました。もし祖父母が認知症になってしまっても、動揺せず相手ができそうです。町とかでそういう老人に会っても対応して安心させてあげられたらなと思いました。(1の1女)

・アルツハイマーの人には、目を見て話したりすることがいいと分かりました。優しく接することが分かりました。(1の1男)



## 1の2

・認知症の人は。時には怒られたりしてしまってかわいそうだなと思いました。でも接し方で変わるんだなと思いました。(1の2男)

・今日の出前講座で、認知症の人の失敗や間違いを責めたり、差別をしては絶対いけないことが分かりました。認知症になった本人が一番つらい思いをしているので、同じ人として公平な目で見てあげることが大切だと思いました。身近に認知症の人はいないけど。困っている人を見かけたら、助けてあげたいです。(1の2女)

・認知症の人を見たら、優しく接してあげる。(1の2男)



・認知症になったら「自分の財布をあの人が盗んだ」など、人を疑うような感情が出てくるんだなと思った。そんな時は怒らず、やさしく言ってあげるのがいいんだなと思いました。(1の2女)

・認知症の人にも、そうじゃない人にも優しく接することがよいことが分かりました。(1の2男)

・今日は劇とかもあって、とても分かりやすく認知症について学ぶことができました。認知症とか関係なく、優しく接した方がいいことが多いとわかりました。(1の2女)

・認知症はやっぱり大変で、いろんなことが分からなくなってしまい、周りの人からも冷たい目で見られることもあるので、なりたくないなと思いました。周りの人の助けも必要と分かりました。(1の2女)



※認知症講座の前の事前のアンケートで「どんなふうに接すればいいか分からなくて大変そう」と書いた子が「とても分かりやすく認知症について学ぶことができました。認知症とか関係なく、優しく接した方がいいことが多いと分かりました」と書いてあり、出前講座をやってよかったなと思いました。